

平成30年度第1回君津地域保健医療連携・地域医療構想調整会議 開催結果

1 日時 平成30年7月19日(木) 午後6時30分から7時25分まで

2 場所 君津健康福祉センター 3階大会議室

3 出席者

委員（総数15名中15名出席）

神田委員、天野委員、三枝委員代理 平林氏、原委員、剣持委員、海保委員、
新田委員、木田委員、石井委員、滝口委員、渡辺委員代理 小磯氏、
鈴木委員代理 山中氏、高橋委員代理 下間氏、出口委員代理 加藤氏
野田委員（会長）

4 会議次第

・開会

・議題

（1）各種事業の実施状況と平成29年度機能報告の結果等

（2）平成30年度調整会議の進め方

・報告

（1）本県の結核医療提供体制について

（2）医療法及び医師法の一部改正について

5 議事概要

県健康福祉政策課及び県疾病対策課より配布資料に関する説明があり、その後意見交換及び質疑応答を行った。

【同意内容】

- ・君津木更津医師会病院部会を地域医療構想調整会議の部会として位置づけること。
- ・入退院支援等の地域課題については、構成員を含め部会等を通して検討していく。

【意見交換及び質疑応答】

（委員） 資料5-1の部会の委員（案）について、君津木更津医師会病院部会を部会の委員にするということだが事前に聞いた説明では、居宅介護支援専門員なども部会の委員（案）としていたと思うが委員から除いたのか。

（回答） 入退院支援等の地域課題を部会で議論することになった場合、市町村や居宅介護支援専門員などの地域の介護分野の専門の方を委員として部会に招く必要があると思うが、まだ関係者に方針などを説明していないので今回の資料では除いた。今後部会などで方向性を調整し、了解を得たうえで委員として加えていけたらと考えている。

（委員） 資料5-2の第3条で記載されている者を最終的には委員として選任したり、病院部会で方向性を決定していき、委員を選任していくという理解で良いか。

(回答) 理解して良い。

(委員) 病床機能報告を定量的指標でやるということを、国が県に投げつけてきて、県が地域に投げつけてきて病院部会で定量的な指標の検討をして、議論を進めてくださいということか。

(回答) 丸投げしているつもりはなく、他圏域の情報や調査の長所、短所を提供しつつ、地域でどんなやり方が良いか検討する必要があると考える。東葛南部、奈良県などの方法は一長一短であり、調査の進め方や調査方法によって得られる病床機能の結果が変わってくる。これなら病床機能の実態を表していると地域で納得できる方法を委員の皆様と考えていきたい。

(委員) 資料の4-2の調査票は、千葉県が進めたいと考えている病床機能の把握の調査なのか。

(回答) 資料の4-2は調整会議の活性化や地域課題を扱う調査とは別物であり、病床機能報告で国に報告が必要な項目について調査票にてとりまとめて国に報告するものである。

(委員) 千葉県が独自に考えたものか。

(回答) そうである。大部分は国へ報告が必要な項目であり、千葉県で取りまとめて国に報告することで対応していきたい。

(委員) 病院部会を調整会議の部会として利用するという事は良いことだが、病床機能の関係で医師会病院部会の委員は診療所が委員として入っていないので、19床以下の有床診療所の取扱いを医師会事務局と調整をしたほうが良いのではないか。

(回答) 基本的に地域の病院で構成される病院部会で議論をするのが効率的だと考えているが、必要に応じて有床診療所も含めて議論すべきという意見があれば、そのようなかたちでの議論も可能であると思うので、調整していきたい。

以上